

第4回京丹後市文化財保護審議会

- 1 開催日時 平成17年2月28日(月)午後1時30分～午後4時20分
- 2 開催場所 下記のとおり
- 3 出席者 今村純訓委員、平井久夫委員、糸井秀太郎委員、
志水栄一委員、城下圭介委員、増田 馨委員、藤田泰弘委員、
岡田鈞治委員、足達礼三郎委員、出席
欠席 田中光浩委員
- 事務局 引野教育長、水野次長、吉岡英一館長、黒崎課長、吉田補佐、
岡林主事

4 内 容

- (1) あいさつ
- (2) 京丹後市指定文化財の指定基準について
- (3) 史跡整備計画について
- (4) 平成17年度文化財保護事業について
- (5) 文化財保護審議会委員の研修について
- (6) 報告

出土遺物整理事業

文化財収集事業

郷土の古文書展

鳴き砂講演会ほか

4 公開又は非公開の別

公開

5 傍聴人の数

0人

6 要 旨

引野教育長あいさつ

本日の審議会は本市の指定基準の再協議と1月に設立した史跡整備検討委員会並びに昨年5月に改正された文化財保護法の概要と当市の改正対応について、併せて17年度の文化財関係の事業計画案について報告させていただきたい。

志水会長あいさつ

本日の審議会の内容について

京丹後市指定文化財の指定基準(案)について

(会 長) 事務局から市指定基準(案)の提案をお願いします。

(事務局) 前回の審議会の指摘内容の風穴については、広い意味で洞穴に含まれること。指定基準の前段に根拠条例等の説明文を加えた。文化財保護法の改正に伴い、文化的景観等については京都府の動向を見て、今後改正を検討していく。今回の指定基準の中には盛り込まない。

(委 員) 京都府の指定基準について、文化的景観等の内容の改正がまだということなので、府の動きに合わせて改正することでよいと考える。

(委 員) 伝統的建造物群について、この基準で指定できるか。

(事務局) 指定基準の建造物を複数指定することで可能だと考える。

(会 長) 京丹後市指定文化財の指定基準の採択について諮ります。
この指定基準で宜しいですか。

(委 員) 異議なし

(会 長) 京丹後市文化財の指定基準については決まりました。
(最終は字句、表現等若干修正)

史跡整備計画について

(会 長) 史跡整備計画について説明をお願いします。

(事務局) 史跡整備検討委員会について設立の経過、12月議会にて条例設置の内容、検討委員会の構成メンバー、委員会の今後の日程、諮問内容等の説明。

(事務局) 京丹後市史跡整備説明資料・ネットワーク概念図(資料1)

京丹後市史跡整備文化財資料（資料3）

整備すべき遺跡と文化財ネットワーク概念図(案)の説明、史跡整備候補地の整備状況(案)、これまでの史跡整備計画等について説明。

(委員) 民俗資料や歴史資料を仕分けしながら、歴史資料や民俗資料の各資料について拠点づくりが必要だと思う。

(会長) 旧町ごとの保管状況や資料館の資料の保管状況はどうなっているか。

(館長) 民俗資料については、専門的な資料館として市立網野郷土資料館がある。ただし、農業については京丹後市全域の中で使う道具などかなり様相が異なっている。熊野郡のことは熊野郡の資料で学ぶことが良いと思う。また、資料館としては現在、丹後町古代の里資料館と網野郷土資料館があり、資料の種類ごとに民俗は網野資料館、歴史・考古は丹後古代の里資料館と区分して展示するのが良いと考える。

(委員) 岩滝町から出土したガラス釧ばかり注目されているが、大宮町三重からもガラス釧が発見されているが、案外取り上げられていないように思う。

(委員) 網野高校など丹後の各学校にも多くの資料が保管されている。掛津から青磁の椀や八角形の建物の柱が出土したことがある。平安時代の柱で重要なものだと思う。

(委員) 旧町の関係で、どこかの機関に寄託や寄贈している資料についてはどうなっているか。

(事務局) 指定など重要なものは丹後郷土資料館に寄託している。その他譲与申請をして京丹後市に帰ってきたものもある。

(委員) 網野町では奈良時代の墨書土器なども出土している。

(委員) 京丹後市内の小中学校にも土器、民俗などのかなりの資料があ

るがそれらの管理はどうか。

(事務局) 竹野小学校、間人小学校ではすべての資料を丹後古代の里資料館に引き取って保管している。基本的には調査して資料館等で管理するほうが望ましいと考えている。

(委員) 絵画等についても調査した方がよいと考える。地元出身の画家のものなどかなりの資料を小学校が保管しており、その整理もお願いしたい。

(委員) もらった資料の中で遠處遺跡等の説明文に間違いがあり訂正されたい。

(委員) 遺跡の整備ランクについてはもうすこし説明願いたい。

(事務局) 遺跡の中には、遺跡が地下に保存されているもの、一部発掘の上、壊されて施設が建設されているものなど様々であり、事務局案として示したものである。

(委員) 整備の予算もあり、史跡整備については効果的に進められたい。

(委員) まずどこに何があるのかという、京丹後市の観光ガイドが是非とも必要だと思う。地元の人でもよく知っていないことが多い。

(委員) 各町ごとに、観光ガイドがいると思うが、市の方でも観光ガイドを集めて方策を講ずることが必要ではないか。

(委員) 住んでいる地元の人とその地域の文化財、歴史について知らない。社会教育の中で宮津の資料館に行かなくても学べる機会をもっとつくるべきだと思う。

(委員) 資料を見ていて郷村断層があるが、古墳、遺跡などの資料の中で自然現象であり、異質な感じを受ける。また、史跡の整備だけでなく各史跡、遺跡についての教材、副読本、ガイドブック的なものがもっと必要だ。

- (委員) 徳光から掛津にかけて断層があり、学習の場所となりうる。
- (委員) 以前に比べて、小学校などの授業で地層や地域の歴史などを学ぶ機会が減っているように思う。
- (館長) 現在でも地層、古墳、くらしなどの授業があり資料館にも見学の申し込みがあり対応している。
- (委員) 寺など文化財の説明看板、案内看板についてももう少し整備すべきだと考える。
- (委員) 鳴き砂についても、この候補地の中に入れるべきものだと思う。
- (委員) 神明山古墳、産土山古墳は史跡整備候補地では史跡の内容から見て A ランクだと思う。
- (委員) 函石浜遺跡では、防風林として外来種のニセアカシアが繁っているが、あの風景に違和感を感じる。
- (委員) もともと黒松の林があり枯れてニセアカシアを植えている。
- (委員) ニセアカシアについては整備する中で検討してほしい。
- (会長) 史跡整備については以上で終わります。

平成 17 年度文化財保護事業について

- (会長) 平成 17 年度文化財保護事業について議題とします。
- (事務局) 平成 17 年度文化財保護事業について概要説明。
- (委員) 17 年度の事業のなかに網野島津の床尾神社の修繕が入っているか。
- (事務局) 京都府の社寺等保全事業で対応する計画にしている。

(委員) 仲禅寺に大アマガエルの看板が立っているが大アマガエルも貴重な文化財かどうか。また、アベサンショウウオは網野にも生息している。

(委員) サンショウウオは宇川にも生息している。

(委員) 町史の中で江戸時代の年貢についての記述に間違いのあるものがあり正誤表が必要ではないか。また江戸時代の認識として日本の文化や社会が極めて遅れた社会だという誤った歴史観が気になる。

(委員) 外国などではむしろ江戸時代の日本の文化に対する評価は高い。

(委員) 大宮町の資料編など非常によい資料だと思う。それぞれの旧町の町史も学ぶことが多い。当時の町で発刊したものであり訂正までしなくてよいと思う。

(委員) 市史編さんについてはどういう計画か。

(事務局) 宮津市史編さんなどを参考に10年を超える計画となる。来年度は編さん委員会などの体制と方針、古代史が中心の予定。

文化財審議会委員の研修について

(会長) 文化財審議会委員の視察研修について説明されたい。

(事務局) 審議会視察研修について説明

報告事項

(会長) 行事予定について報告してください。

(事務局) 出土遺物整理事業と丹後震災記念展について事業計画の概要報告について。(現在の進行状況と内容について)

(館長) 郷土の古文書展の事業計画の概要報告について。

(事務局) 鳴き砂講演会の事業計画の概要報告について。

(会 長) 文化財保護審議会の視察研修には参加ください。以上で本日の
審議会を終了します